

# 一般質問

一般質問とは、市政全般についての議員の質問です。12月定例会では、15人の議員が、12月3日、4日、5日の3日間にわたり一般質問を行いました。その一部をお伝えします。

## 《Q》曼珠沙華を秋の観光の目玉に！

### 《A》観光協会で検討中

おおつか 大塚 あかね 議員（民主党）



#### 年間を通じた花の観光施策を

**市長** 多摩川沿いの土手に咲く曼珠沙華は、日高の巾着田に引けを取らぬほどである。春の桜、チューリップに続く花の観光として、秋の曼珠沙華を活用しないのはもったいないことである。

**質問** 「秋の観光資源として曼珠沙華を活用しては」と市民からの声も多い。活用を考えているか。

**市長** 観光協会で検討しているので市も支援していく。

#### 「はむりん」をどのように活かしていくのか

「ゆるキャラグランプリ2013」で1580体中312位になった「はむりん」。今後、どう活用するか。

**質問** 「はむりん」誕生には288万円の予算がかけられたが、費用対効果は。

**市長** これまで20のイベントに出演し、市の魅力発信に努めてきた。

**質問** 「水はむら」のパッケージに「はむりん」が使わ

れないのはなぜか。

**市長** 次回製造時に取り入れる。

**質問** 著作権は羽村市にあるが、商標登録はどのようなになっているのか。

**市長** 今後対応していく。

**質問** 各種団体や企業等から出演依頼があった際のルールは定められているか。

**市長** 「はむりん」の形状及び名称の使用に関する基準」に照らして対応しているが、今後は出演基準についても定めていきたい。



△成人式で一中吹奏楽部と踊るはむりん

■その他の質問  
フィクメン（子育てパパ）に更なるエールを！

## 《Q》災害時要援護者名簿の登録者数と推進への取組みは

### 《A》登録者数 341 人、今後も登録を呼びかけていく

とみなが のりまさ 富永 訓正 議員（公明党）



#### 災害時要援護者の避難対策について

災害時に自力で避難することが難しいお年寄りや障がい者など「災害時要援護者」を支える充実した仕組み作りが求められている。

**質問** 現在までの災害時要援護者名簿への登録者数と、登録推進への取組みは。

**市長** 平成24年度から、災害時要援護者登録制度を実施し、登録者本人の同意のもとで、平時から関係機関への情報提供を行い、支援体制の確立に努めている。現在の登録者数は341人。登録推進に向け、さまざまな機会を通じ周知に努めるとともに、地域の皆さまと連携・協力し、該当される方に、自己情報を提供することへの同意と登録を呼びかけていく。

#### 市民が楽しみながらできる健康維持について

健康づくりへの充実したサポートがますます求められている。



△昨年の健康フェアも盛況

**質問** 「健康マイレージ」制度の導入検討を。

**市長** 先進的な自治体の手法や導入効果などについて、研究していく。

**質問** 高齢者ボランティア活動支援への取組みは。

**市長** 各老人クラブが行った社会奉仕活動に対しその活動を支援している。

**質問** 「ボランティアポイント」制度の導入検討を。

**市長** 先進事例の調査研究に努め検討していきたい。

## 《Q》羽村駅自由通路の拡幅の取組み状況は

### 《A》JRとの協定の締結と設計を早急に行う

こみや くにあき 小宮 國暉 議員（新しい風）



#### 羽村駅東西を結ぶ自由通路の拡幅に向けて

市民の長年の要望であった西口駅舎の新築等を検討していくため、平成17年度に「羽村駅西口基本設計検討会」が設置された。私も参画し6回にわたり検討が重ねられた。自由通路の拡幅は、市の玄関口にふさわしい施設としていく必要があり、多くの市民が早期実現を望んでいる。

**質問** 羽村駅東西を結ぶ自由通路の拡幅は、羽村市とJRとが平成18年度に協定を締結したが進まなかった経緯がある。その後JRとの間で協議が重ねられていると思われるが、現状の交渉過程と市としての今後の取組みと見通しをどう考えているか。

**市長** キヨスク等の最終的な移転場所については、JRの駅舎と市が設置した西口駅舎の間の空間に、新たに設置する多目的スペース内へ移転することにし、協



△羽村駅の自由通路

定の締結および設計を早急に行う。移転が完了したうえで、現在JR財産である自由通路部分を市に無償移管し、市道認定と拡幅整備に着手していく。

財源の面では、羽村駅自由通路の拡幅等整備の実施に向けた事業費を確保するため、「羽村市特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例」を設置し、特定財源の確保に努めている。

●その他の質問  
「自転車駐車場の現状と整備促進に向けて」



ふなき よしのり  
船木 良教 議員 (新政会市民クラブ)

《Q》公共資産の効率的な運用にどう取り組んでいるか  
《A》データベース化して効率的な運用を図る

**公共資産の効率的な運用について**  
**質問** 経年劣化している公共資産の検証と効率的な運用について、公共資産台帳管理の現状はどうか。  
**市長** 市では平成20年度決算より、総務省方式改定モデルによる「貸借対照表」など財務書類4表を作成して財政計画の基礎データとしている。現状の資産については、道路、上下水道、行政財産・普通財産など分野ごとに台帳を整備している。  
**質問** 現在、羽村市の資産管理で問題となっている施設はあるか。  
**市長** 昭和40年代〜50年代にかけて整備された施設や借地の今後のあり方について、公共資産総合計画に基づき方向性を導き出していく。  
**質問** 支出に見合った価値があるかどうか、また今後の必要性や費用対効果についてはどう捉えるか。  
**市長** データベース化や市



△羽村市役所

民満足度などを検証して効率的な運用を図っていく。  
**質問** 借地について相続の発生や返還等にはどう対応するのか。  
**市長** 借地については将来にわたって借用可能か、買い取りの必要性など、的確に把握するとともに、事前に検証して分類しておく必要がある。所有者の意向等も考慮して、今後、行政需要の検証や優先づけも行っていく。  
●その他の質問  
「小作台5丁目の市営住宅跡地に多目的施設の早期実現を望む」



なかじま まさる  
中嶋 勝 議員 (公明党)

《Q》市内における振り込み詐欺の被害件数と金額は？  
《A》平成25年は6件、2100万円の被害

**悪質業者から市民を守れ**  
**質問** 近年の市内における振り込み詐欺の被害件数と金額は。  
**市長** 平成23年〜25年の3年で21件、5293万円の被害である。  
**質問** 新たな手口の悪質業者が増えてきた。どんな手口があるか。  
**市長** 送り付け商法、押し買い商法、ワンクリック詐欺、投資詐欺、押し付け詐欺、その他点検商法、催眠商法、靈感商法等がある。特に、健康食品等の送り付け商法の相談件数は、10月までで22件ある。  
**質問** 怪しい相手からの迷惑電話を防止する機器を市民へ貸し出しているか。  
**市長** 警視庁から高齢者を対象に自動通話録音機を無料で貸し出している。市民の皆様へ周知していく。  
**質問** 特に被害が多い高齢者および高齢女性への騙されないための講座や啓発、周知の充実を望むが。



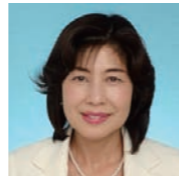
△老人クラブ連合会福祉大会で振り込み詐欺の寸劇を見る皆さん

●その他の質問  
「さらに親しまれる童話の動物公園に」

**市長** 防犯対策の出前講座をシルバー人材センターの総会で実施。また老人クラブ連合会でも寸劇等を交えた講座も計画。その他広報紙、メール配信、啓発用のパンフレットやグッズの配布等強化に取り組んでいる。  
**質問** 羽村市消費生活センターの充実を。  
**市長** 複雑、巧妙化する事案の相談に対し資質の向上を図るとともに、関連する機関や部署と連携し、被害の防止に努めていく。

《Q》庁舎の中で障がい者の方がクッキー等販売できないか  
《A》販売できるよう対応していく

にしかわ みさほ  
西川 美佐保 議員 (公明党)



**障がい者福祉事業と就労環境の拡充を**  
近年、発達障害のある方も増えている。ポーターインの方や引きこもりの方を含め就労の場、訓練の場の拡大について問う。  
**質問** 障がい者の就労支援をどのように推進するのか。  
**市長** 就労・生活の両面から就労支援センター「エール」を設置し充実を図っている。  
**質問** 地域の精神障がい者の作業所は、就労ニーズに対し定員に余裕はあるのか。  
**市長** 市内事業所スマイル工房は、20人の定員を超える利用者が受け入れ、待機者がいる状況と聞く。福祉的就労のニーズは高まるものと想定している。  
**質問** 知的・身体障がい者の施設に余裕はあるのか。  
**市長** 「いちよう」は定員35人中、35名在籍。「ひばり園」は定員70人で近く定員に達することから、社会福祉法人では施設の増設等を検討している。市としても、



△手作りパンも人気のスマイル工房

●その他の質問  
「地域社会で子育てを支える体制を」

就労支援に努める。  
**質問** 老朽化が心配される施設に対し、社会福祉法人からどのような声があるか。  
**市長** スマイル工房の施設が建築後43年が経過し、バリアフリー構造となっていないことから、施設の移転を検討していると聞いている。市としては、社会福祉法人と連携し、施設移転を含め検討を行っていく。  
**質問** 市役所庁舎内で障がい者の方がクッキー等を販売できないか。  
**市長** 販売できるように対応していく。



いしい ひさお  
石居 尚郎 議員 (公明党)

《Q》飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の助成の実施は  
《A》平成26年度に助成制度を創設する

**飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の助成制度を**  
この対策は市の責務であり、不妊・去勢手術の助成制度は有効な手段として、早急に実施すべきである。  
**質問** 活動経過と今後の予定は。  
**市長** ボランティア団体との意見交換を重ねてきた。助成制度も含め、支援していく。  
**読書活動推進の強化を**  
**質問** 本を継続的に親しんでもらうため、ブックスタートのフォロニアップ事業として、セカンドブック・サードブック制度を新たに立ち上げる考えは。  
**教育長** フォロニアップ事業についても視野に入れながら、年齢層を問わず親子で楽しめる図書館の構築を目指していく。  
**質問** 図書館と学校図書館のネットワーク化は計画通り推進していくか。  
**教育長** 今後準備を進め



△保健センターでのブックスタート

●その他の質問  
「さらに親しまれる童話の動物公園に」  
**質問** 学校図書館司書の常駐化を考えているか。  
**教育長** 学校図書館巡回司書の各学校における配置時間数等の見直しを検討している。  
**質問** 図書館分室の今後の市の対応は。  
**教育長** 図書行政全体計画を検討し、関係する図書館協議会等の意見を聞き、市民サービスの低下とならないよう対応する。  
※ブックスタート事業：絵本を通じて赤ちゃんと心ふれあうひとときを持てるよう応援する事業。羽村市では乳児健診等の時に絵本を配布している。